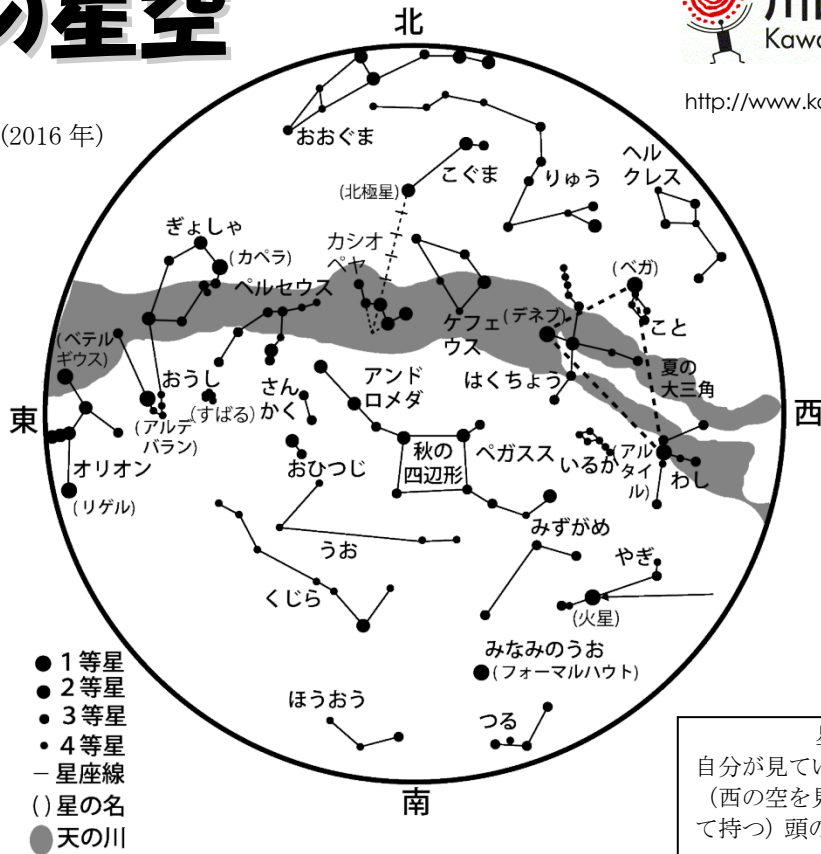


今月の星空

11月 (2016年)

上旬 21 時頃
下旬 20 時頃



星図の見方
自分が見ている方向を下にして、
(西の空を見るときは西を下にして持つ) 頭の上にかざして見ます。

- 月 齢 ● 上弦 8 日、○ 満月 14 日、◐ 下弦 21 日、● 新月 29 日
- 惑星情報 水星 夕方 西 (下旬) (てんびん座 → さそり座 → へびつかい座 -1 等級)
金星 夕方 南西 (へびつかい座 → いて座 -4 等級)
火星 夕方 南 → 南西 (いて座 → やぎ座 0 → 1 等級)
木星 明け方 東 → 南東 (おとめ座 -2 等級)
土星 夕方 南西 (中旬まで) (へびつかい座 0 等級)

☆ 今年最大の満月 (14 日)

地球の周りを回る月の軌道は楕円 (だえん) になっていて、月と地球の距離はいつも変化しています。14 日は、地球と月が最も近づく時に満月になるため、見かけの大きさが今年最大となります。ちなみに今年最小の満月は 4 月 22 日で、今回はその時よりも 1 割ほど大きい満月を見ることができます。

☆ 北の空高くに見られるカシオペア座

逆W型に星が並んでいるカシオペア座は、北極星を探す目印として使われます。図のように、Wの端の 2 辺 ($\beta \rightarrow \alpha$ 、 $\epsilon \rightarrow \delta$) を延長した線の交点からWの中央の星 (γ) へ結んだ線を 5 倍延長すると北極星が見つかります。この星は地球の自転軸と同じ方向にあるため、いつも北にあり動かないように見えます。

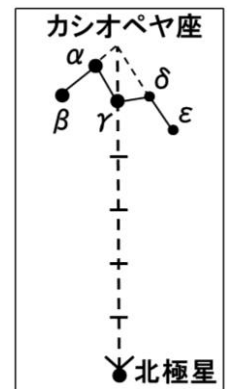


図 カシオペア座と北極星

☆ 東の空に見られるおうし座と「すばる」

おうし座にある散開星団「すばる」は、プレアデス星団とも呼ばれ、肉眼で 5~7 個ほどの星を見ることができます。これは、ギリシャ神話では月の女神アルテミスに仕えていたプレアデスの 7 人姉妹の姿だと言われています。11 月 26 日の夜間観測会で観測する予定です。

「すばる」から東の空低くに目を移すと、1 等星の「アルデバラン」が見つかります。この名前は、アラビア語の「アッ・ダバラーン」(「後に続くもの」という意味) に由来し、「すばる」の後に続いて昇ってくることから命名されました。日本でもこの様子から、「後星 (あとぼし)」などと呼んでいました。